

2025年から

多焦点眼内レンズの治療を開始します 選定療養費制度対応!

白内障手術後、眼鏡のいらない生活が期待できます

多焦点眼内レンズとは近く、中間、遠くの距離に応じて、2箇所以上の距離にピントを合わせられる医療用眼内レンズのことです。

白内障治療と同時に老眼も改善したいという方にもおすすめです。



単焦点眼内レンズ

遠方に焦点が合い、中間と手元は見えにくい。1点にピントがあうもの



2焦点眼内レンズ

遠くと近くは見やすく、中間はやや見えにくい。2点にピントがあうもの



3焦点眼内レンズ

遠方から中間、近くも見やすい。3点にピントがあうもの

多焦点レンズの注意点

ハローグレア現象：光がにじんで見えたり、光の周りにリングがあるようにみえたり、眩しく見えたりする現象をハローグレア現象といいます。この現象は、多焦点眼内レンズを用いた白内障手術後に発症しやすいといわれています。当院で採用されている多焦点レンズは比較的ハローグレア現象が抑えられた成績をもったレンズです。

多焦点眼内レンズは基本保険適用外ですが、当院採用レンズは選定療養費制度対応となっております。

(選定療養適用の際は、手術代金は保険適用となり、レンズ代金のみ負担となります)

お問い合わせ



医療法人医誠会

医誠会国際総合病院

眼科

HPはこちらから→



〒530-0052 大阪市北区南扇町4番14号
TEL:0570-099166(代表)

